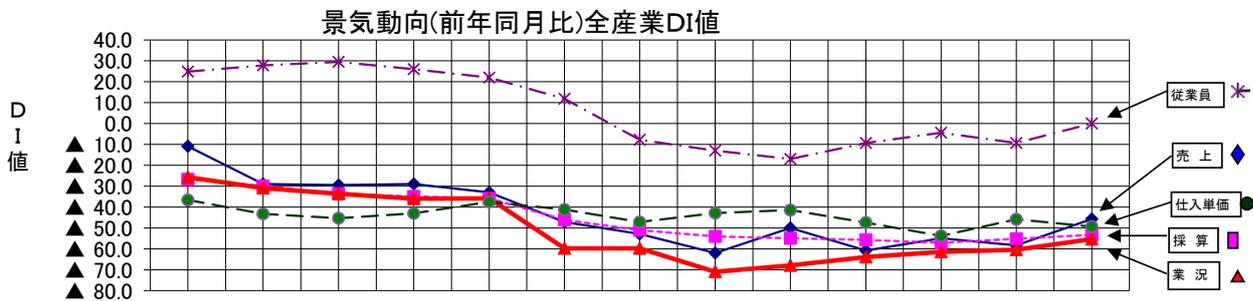


# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 10月分

## 【10月の概要】 緩やかな改善を示すも、引き続き低水準の見通し 各GoToキャンペーンへの期待感とともに、アフターコロナへの不安も

業況判断DIについては、仕入単価DIを除く指標で改善。特に売上DIは12.6ポイント改善し、3月の水準まで回復。従業員DIも前月比で9.4ポイント上昇、0.0ポイントとなり、雇用環境の回復が窺える。先行きの見通しについては、前月同様、全ての指標で改善した。

寄せられたコメントからは企業努力で凌いでいる現状が窺われ、相変わらず厳しい状況が続いている。GoToキャンペーンへの期待感はあるものの、アフターコロナを懸念する声もあり、引き続き我慢の経営が求められる。



### 【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2019年10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	2020年10月
売上	▲ 10.9	▲ 28.9	▲ 29.5	▲ 29.0	▲ 33.0	▲ 47.1	▲ 52.9	▲ 62.0	▲ 50.0	▲ 60.8	▲ 55.0	▲ 58.3	▲ 45.7
採算	▲ 26.7	▲ 29.9	▲ 33.7	▲ 35.0	▲ 35.8	▲ 46.1	▲ 51.0	▲ 54.0	▲ 55.0	▲ 55.7	▲ 57.1	▲ 55.2	▲ 53.3
業況	▲ 25.7	▲ 30.9	▲ 33.7	▲ 36.0	▲ 35.8	▲ 59.8	▲ 59.8	▲ 71.0	▲ 68.0	▲ 63.9	▲ 61.5	▲ 60.4	▲ 55.4
仕入単価	▲ 36.6	▲ 43.3	▲ 45.3	▲ 43.0	▲ 37.6	▲ 41.2	▲ 47.1	▲ 42.9	▲ 41.5	▲ 47.4	▲ 53.8	▲ 45.8	▲ 49.4
従業員	24.8	27.8	29.5	26.0	22.0	11.8	7.8	13.0	17.0	9.3	4.4	9.4	0.0

- ・マイナス幅が減少したDI値：売上12.6ポイント、採算1.9ポイント、業況5.0ポイント、従業員9.4ポイント
- ・マイナス幅が増加したDI値：仕入単価3.6ポイント

### 全産業平均DI - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
8月	▲ 42.9	▲ 48.4	▲ 49.5	▲ 7.7	▲ 14.3
9月	▲ 39.6	▲ 42.7	▲ 40.6	▲ 7.3	▲ 7.3
10月	▲ 27.2	▲ 25.0	▲ 30.4	▲ 6.5	1.1

- ・見通しが改善したDI値：売上12.4ポイント、採算17.7ポイント、業況10.2ポイント、仕入単価0.8ポイント、従業員8.4ポイント
- ・見通しが悪化したDI値：なし

### 【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	電気工事	新型コロナの影響から徐々に戻りつつあるが、例年通りになるにはもう少し時間がかかりそう。
	設備工事	新型コロナの影響がここに来て出始めている。回復効果も時間差で現れると思われる。
製造業	化学製品製造	新型コロナの影響により当社の業績は下向きになると考えられる。
	板金・溶接加工	相変わらず苦しい。現状の仕事はあるが徐々に金額的にも厳しくなっている。
卸売業	石油製品	地域経済の再生に財政出動される一方で、公共事業向けは減少している傾向にある。
	青果	出荷量が少ない傾向から回復し、相場も平年並みとなった。GoToキャンペーンにより徐々に改善の兆しが見られる。
小売業	生花	昔は400店余りあった商店街は減少し先月には3代続いた蕎麦屋が閉店。地域経済が早く良くなることを願う。
サービス業	広告代理店	GoToキャンペーンがスタートしたが、目先の利益だけでなく、アフターコロナに向けた種まきが必要である。
	飲食	地域のお店応援商品券やGoToイートの効果は出ているが、4月以降の消費の動きが心配。
	運輸	運行便の集約、残業時間削減等コスト削減を図っているが苦戦を強いられている状況。